

2009年7月31日  
富士フイルムホールディングス株式会社

**2009年度第1四半期決算説明会  
主な質疑応答**

Q1: デジタルカメラ事業の損益改善状況について教えてください。

A1: 製造原価を2割削減するなどのコスト削減を含めた事業改革を推進しており、非常に厳しい事業環境の中、第1四半期はオペレーションベースで赤字を回避できました。8月から発売する新製品でのコストダウン効果も含めて、年間でも収支均衡～プラスにしていきたいと考えています。

Q2: フラットパネルディスプレイ材料事業は、前四半期と比較してどの程度回復していますか。数量や単価の状況を教えてください。

A2: 液晶パネルメーカーの生産調整もほぼ収束し、フル稼働生産であった昨年上期の状況の約9割程度まで販売数量は回復しています。価格は幾分ダウンしていますが、計画線上で安定的です。

Q3: 富山化学工業(株)で開発するT-705の状況について教えてください。

A3: 日本ではPⅡを終了し、秋からPⅢに入る予定です。米国ではPⅠの段階にあります。

以上